

活動名		ペンダント				
概要	○木の特徴を生かして、ペンダントをつくる。					
ねらい	○木工作への関心を高める。 ○材料である「ネズミサシ」の特性を知り、それを生かした工作をする。 ○手づくりの喜びを味わう。					
関連教科等	生活・図画工作・総合					
指導形態	①自主活動で実施, ②職員は活動の説明のみ行う, ③職員が指導を行う					
時期	通年	時間帯	日中	対象	幼児～	
場所	創作棟, 他	人数	何人でも	所要時間	0.5～1時間	
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの		
	ペンダント用木材, スタンプ, サンドペーパー ひも, 名前ペン			なし		
進め方・展開例						
内容			留意点			
活動前	○打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数, 材料の数, 活動の進め方			○職員からの指導が活動の説明のみの場合は, 活動の進め方や安全面, 片づけ等について十分確認する。		
活動の説明	○木の特性について (場所によって成長に違いがある) (堅さに違いがある) (製品にする場合, どのような木が適しているか) (使う材料は「ネズミサシ」という木である) など ○作成手順について			○木造家屋であれば, 柱に使用してある材や床柱に使用してある材の特徴など, 参加者に投げかけながら話すと理解しやすい。 ○「ネズミサシ」は通称「ネズ」。自然の家の周辺には比較的多く, 成長に年数がかかる。それだけ木目が細かく堅いため, 艶も出ることにつながると思われる。 ○創作説明用のシートを使用する。		
展開	○材料を選ぶ。 ○サンドペーパーを配布する。 ○サンドペーパーで艶が出るまで磨く。 ○ひもを配布する。 ○結び方を紹介し, 首に掛けられるようにする。 固定(本結び等) 誘導(テグス結び)  			○材料は事前にカットしてあるので, 好きな形のものを選択させる。 ○素材のまま木目を生かした作品にしてもよいし, 入所記念のスタンプを押してもよい。 ○ひもは, 汗などでぬれると色が落ち, 肌や衣服に付着するので注意が必要。		
まとめ	○できばえを発表し合う。					
評価	○材料の特徴を理解し, それを生かそうとしたか。 ○楽しみながら作品づくりに取り組むことができたか。					
発展	○自然散策等の活動から引き続きの創作活動として活用することもできる。					